

# 岩ガキまつり、一斉に開幕

県北沿岸3市町 22日からは佐伯市でも

日豊海岸岩ガキまつりの開幕をPRする若船レディと北浦臨海パークの牡蠣家



岩ガキとエウギガイの炭火焼き



「日豊海岸岩ガキまつり2022」が、1日から延岡市、日向市、門川町で一斉に開幕した。22日からは大分県佐伯市も加わり、メニューを提供する19店舗は抽選で伊勢えひなどが当たるキャンペーンを実施する。お楽しみも。

カキは冬の食材で九州地域が産地というイメージが定着している中、日豊海岸の豊かな海で育ち、大きく濃厚な味が楽しめる岩ガキを新たな特産品として売り出すため、各市町が共同して発信。秋冬の味覚「東九州伊勢えひ海道」とともに、日向灘、豊後水道が一

年を通して海の幸の宝庫であることを、地域連携で効果的にPRする。参加店では焼きガキをはじめ、かきフライや酒蒸し、白ワイン焼き、にぎりずし、みそ焼き、チーズ焼きなど、それぞれに多様なメニューを提供。食事をしながら楽しむ。

もろった専用はがきで応募すれば、抽選で1等6人に「豪華伊勢えひセット」をはじめ、2等3名等に「地元の特選オリーブオイル」が贈られるプレゼントキャンペーンを実施している。岩ガキまつり開幕を前に4月30日には、延岡市の北浦臨海パーク

内にある参加店「牡蠣(かき)家」で、関係者を集めてのお披露目会があり、若船(あゆ)レディの森みなみさんらが焼きガキなどを食べて、おいしさをPRした。

主催団体を代表し、延岡観光協会の会長と二代表理事は、前回の「延岡市」北浦臨海パーク「牡蠣家」北浦町古江の道の駅北浦「レストラン海鮮館」

「天候」上町細島牡蠣小屋「かき家」細島磯料理旅館「望洋館」平岩漁業民宿「磯」幸臨「船待」同

主催団体を代表し、延岡観光協会の会長と二代表理事は、前回の「延岡市」北浦臨海パーク「牡蠣家」北浦町古江の道の駅北浦「レストラン海鮮館」

「延岡市」北浦臨海パーク「牡蠣家」北浦町古江の道の駅北浦「レストラン海鮮館」

「まっ浦」鶴見地松浦「鶴見海浜パーク」鶴見有明浦「民宿・旅館」まるに丸「清江西野浦」道の駅かまえ「レストラン海鳴亭」同清江浦「かまえ食堂」井ごと「同野々河内浦江川」かまえ「インターパーク海べの市」海のレストラン笑魚「同森崎浦」すし処「魚」同丸市尾浦

8月31日まで 19店舗で料理提供